◇　◇　第二種研究会発表募集案内　◇　◇

●第 31 回サイバーワールド（CW）研究会

期日　平成 27 年 12 月 4 日（金）
会場　防災科学技術研究所（つくば市）
テーマ　「安全保障と災害対応とサイバーワールド」

サイバーワールド（CW）二種研究会では，下記のとおり第 31 回目の研究会を開催します．今回は通常の一般研究発表に加え，テーマに深く関係する内容の招待講演も予定しております．皆様の多数の御発表，並びに御参加をお待ちしております．

招待講演
・臼田裕一郎（防災科学技術研究所）
・政本憲蔵（マクニカネットワークス）
・調整中

開催趣旨

昨今，我が国を取り巻く環境が悪化している．火山の噴火，豪雨・豪雪などの異常気象，東日本大震災のような大規模な地震や津波などの自然災害，地政学的な問題，社会不安などの暴動や紛争による危機，テロ，また IT などを活用したサイバー攻撃からの大規模な情報漏えいによって起きる問題と不安，漏えい情報を基にした犯罪などがあります．現社会では，社会を守る意味でも，国民の生活・命を守る意味でも安全保障は欠かせない．災害による社会やシステム，インフラの破壊，地政学的な視点からの緊迫した国際情勢，テロ組織による様々な攻撃，技術などの情報収集に関する事件，企業などの技術流出など，それぞれの情報に関する問題とインシデントが発生している．このような我が国を取り巻く状況の中で，突発事案が発生した場合，様々な問題が発生したときにいかに迅速に対応していくかが問われている．そこでリスクや危機管理，課題解決，取り組みなど，多くの課題の解決のために IT を活用した対応が期待されています．更に IT だけでなく BCP や CSIRT のような人的な部分で組織的な対応などをどう行っていくのか，災害直後の情報取得，分析，情報発信，IT を活用した危機対応など，危機管理や今後の備え，体制，情報の扱いなどを含めた課題は多くあります．

そこで第 31 回 CW 研究会では，「安全保障と災害対応のサイバーワールド（仮）」と題し，災害，事故，犯罪，テロなど，リスクや危機に立ち向かうサイバーとして，安全保障をどのように担保し，各問題に対して対応，解決するのかなどに関して幅の広い活発な議論を行いたいと思います．皆様の日頃の研究成果やビジネスでの御活用など，通常の研究会とは違った広い範囲での「研究成果」の御発表を募集致します．また，様々な討議の場として御活用頂ければ幸いです．皆様，奮って御参加下さい．

キーワード：防災，安全保障，危機管理，GIS，防災情報，オープンデータ，マイナンバー，サイバー攻撃，危機対応，SNS，地政学，情報保全，CSIRT

発表申込締切　11 月 4 日（金）

【発表申込方法】　電子情報通信学会の研究会発表申込システムを利用しております．以下の URL を御覧になり，申込をお願い致します．http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=CW「講演の分類」は「一般講演（テーマ 1)」を選択して下さい．

原稿締切　11 月 20 日（金）

※提出原稿のフォーマットは「電子情報通信学会技術研究報告執筆要項」に準じます．詳しくは以下の URL を御覧下さい．

http://www.ieice.org/jpn/toukou/kenkyukai.html#2

原稿提出枚数は 4 または 6 ページとします．期日までに「PDF 形式の原稿のみ」を研究会幹事の石川（ao-ishikawa@kddilabs.jp），小花（kohana@st.seikei.ac.jp）宛に E-mail にてお送り下さい．

【第 31 回研究会問合先】

岡田　忠（防災科学技術研究所）
TEL〔029〕863-7322
E-mail：ouka@bosai.go.jp

【問合先】　幹事

石川彰夫（KDDI 研）　E-mail：ao-ishikawa@kddilabs.jp
小花聖輝（成蹊大）　E-mail：kohana@st.seikei.ac.jp

主催　サイバーワールド時限研究専門委員会
http://www.ieice.org/~cw/jpn/index.html

●アシュアランスシステム研究会

委員長　角田良明（広島市大）
期日　平成 27 年 12 月 22 日（火）
会場　広島大学東広島キャンパス
講演申込締切　12 月 1 日（火）
講演申込方法
　氏名，所属，講演題目，概要（数行），連絡先（住所，Tel，FAX，E-mail）を E-mail で下記問合先，申込先にお送り下さい．追って必要事項をお知らせします．
　本研究会は，以下に示すような経緯と目的からディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下に第二種研究会として開催しています．本研究会は新しい技術であるアシュアランスシステムの今後の発展に寄与することを目的とします．多くの方々の御参加をお願い致します．
[研究会の内容]
　近年，ネットワークの発展に伴い，自律したシステムが接続されるようになっています．これらシステムは異種のニーズを持つだけでなく，頻繁にニーズが変化します．このようなニーズの異種性と状況変動に対する適応性を満たし，異種システムを共存させる技術を「アシュアランスシステム技術」と呼びます．
　1996 年には，日米欧の関係者を中心とし，IEEE にて High Assurance System Engineering 国際会議が設立されました．国内では，1998 年以降フォールトトレラントシステム研究会（現ディペンダブルコンピューティング研究会）にて「アシュアランスシステム」が特集され，大学や企業からニーズ，問題点，解決策，実用例などについて多数発表されました．
　このような経緯から，アシュアランスシステムに関する先進的な議論と提案の場として 2000 年にアシュアランスシステム研究会を発足致しました．また，2002 年から毎年，Assurance in Distributed Systems and Networks 国際会議が開催されています．そのため，ネットワーク分野へのアシュアランスシステム技術の応用についての研究も進んできました．
　本研究会では，制御／情報系システムから，大規模広域システム，超分散システムまで，システム技術，ネットワーク技術，デバイス技術，応用について，設計技術，実装技術，評価技術，先進的な応用事例など幅広くアシュアランスシステムに関する諸問題を研究対象項目とします．
【問合先・申込先】　幹事代理
　井上伸二（広島市大）
　　E-mail：shnj-496@hiroshima-cu.ac.jp
主催　ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会